

成果指標				
成果指標	レセプト点検率			
指標設定の考え方	レセプト点検事務を効率的、効果的に実施し、医療費の増加を抑制し、国保財政の健全な運営を確保する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標25年度
目 標	1	1	0	0
実 績	1	1	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	レセプト点検については、公正な医療給付を行うための重要な事務事業であることから、今後とも、職員の資質向上に努め、事務効率を高める必要がある。医療費通知については、ご家庭の医療費を抑制していくための「気づき」に使っていただくため、引き続き通知していく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	公正な医療給付を行なうためにレセプト点検は不可欠である。そのためにも研修や情報の収集を行いながらレベルアップを図る必要がある。また、医療費の削減のためにも、第2次伊予市総合計画に位置づけている「ジェネリック医薬品への切替」を被保険者へ一層の周知を図らなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題